

## 猿田正機先生 略歴と業績

### 略 歴

#### 《経歴》

1944年1月29日生まれ  
1962年3月 北海道立三笠高等学校卒業（現在廃校）  
1967年3月 慶應義塾大学商学部卒業  
1978年3月 慶應義塾大学経済学研究科博士課程修了  
1979年4月 中京大学商学部専任講師  
2014年現在 中京大学経営学部教授

#### 《担当科目》

商学部：労務管理，社会政策  
経営学部：労務管理，人的資源管理論，人材マネジメント，経営学史  
経営学研究科：労務管理，人的資源管理論  
ビジネスイノベーション研究科：人的資源管理論

#### 《学内教育・研究活動》

経営学部長，経営学研究科長，教務委員長  
中京大学国庫助成すすめる会代表幹事・事務局長  
企業研究所所長

#### 《学会活動》

社会政策学会幹事・企画委員長，国際交流委員会副委員長  
労務理論学会幹事・理事，学術賞選考委員長  
北ヨーロッパ学会副会長，企画委員長  
日本経営学会，経済理論学会，日本中小企業学会，日本労務学会，組織学会，労働社会学会各会員。  
ただし，退職を前後して脱会ないし脱会予定。

### 業 績

#### 《著書》

- ・『経営学原理』共著（日本評論社）1980.7
- ・『労働組合の民主的改革』共著（労働旬報社）1985.3
- ・『先端技術と地場産業』共著（日本経済評論社）1986.2
- ・『戦後日本における労務管理と労働政策』単著（中京大学商学研究叢書編集委員会）1986.3
- ・『大企業労働組合の役員選挙』共著（大月書店）1986.4

- ・『トヨタと地域社会』 共著（大月書店）1987.1
- ・『現代企業における技術と経営の展開』 共著（森山書店）1987.11
- ・『先端技術とテクノポリス』 共著（日本経済評論社）1988.8
- ・『自動車産業と労働者』 共著（法律文化社）1988.11
- ・『トヨタ・グループの新戦略』 共著（新日本出版社）1990.2
- ・『労務管理の生成と展開』 共著（ミネルヴァ書房）1991.1
- ・『社会・文化活動に取り組む』 共著（大月書店）1991.4
- ・『日本の労資関係の変貌』 共著（大月書店）1991.5
- ・『激動期の日本労務管理』 共著（高速印刷出版事業部）1991.10
- ・『トヨタ企業の展開と地域生活の動向』 共著（東海自治体問題研究所）1993.10
- ・『変貌する世界企業トヨタ』 共著（新日本出版社）1994.5
- ・『トヨタシステムと労務管理』 単著（税務経理協会）1995.7
- ・『21世紀、中小企業はどうなるか』 共著（慶応義塾大学出版会）1996.5
- ・『日本的生産システムの評価と展望』 共著（ミネルヴァ書房）1999.6
- ・『アメリカ大企業と労働者』 共著（北海道大学図書刊行会）1998.9
- ・『社会環境の変化と自動車生産システム - トヨタシステムは変わったのか - 』 共著（法律文化社）1999.9
- ・『新・日本の経営と労務管理』 共著（ミネルヴァ書房）2000.4
- ・『人材活用と企業内教育』 共著（日本経済評論社）2000.7
- ・『福祉国家スウェーデンの労使関係』 単著（ミネルヴァ書房）2003.10
- ・『人事・雇用システムの転換と労使関係』 共著（晃洋書房）2004.2
- ・『仕事と生活が壊れていく』 共著（新日本出版社）2004.6
- ・『日本におけるスウェーデン研究』 編著（ミネルヴァ書房）2005.5
- ・『トヨタウェイと人事管理・労使関係』 単著（税務経理協会）2007.12（労務理論学会学術賞受賞）
- ・『トヨタの労使関係』 編著（税務経理協会）2009.3
- ・『도요타 웨이와 인사 관리. 노사 관계 / 사루타 마사키 지음; 김동환, 김명진, 이수정 번역  
서울 : G-Mic R&C, 2010』
- ・『トヨタの雇用・労働・健康』 編著（税務経理協会）2011.3
- ・『日本におけるトヨタ労働研究』 共著（文眞堂）2012.3
- ・『日本的労使関係と「福祉国家」』 単著（税務経理協会）2013.3

#### 《論文》

- ・「戦後民主変革期における『生産管理』 斗争の役割」（三田学会雑誌 71巻1号）1978.2
- ・「愛知県における自動車及び同関連産業の労務市場とトヨタ自動車工業の雇用管理」 地域構造研究会労働部会（日本福祉大学・研究紀要 第45号）1980.9
- ・「長期経済不況下でのトヨタ自動車工業の高蓄積と雇用・失業問題の深刻化」（中京大学・中小企業研究 第1号）1980.9
- ・「現代労働運動と地域総行動」（中京商学論叢 第28巻第1号）1981.7
- ・「自動車産業における労働者の調達・選別・排出の機構（一）」 地域構造研究会労働部会（日本福祉大学 研究紀要 第53号）1982.9
- ・「自動車産業と女子労働者の人事管理 - A社の事例研究 - 」（中京商学論叢 第30巻第2号）1983.1

- ・「自動車産業と労働市場」共著（『社会政策学会年報 第27集』御茶の水書房）1983.5
- ・「自動車産業における労働者の調達・選別・排出の機構（二）」地域構造研究会労働部会（日本福祉大学 研究紀要 第58号）1984.1
- ・「職場における能力主義・小集団管理の仕組みと役割 - A 自動車工業を事例として -」（『労働組合の民主的変革』労働旬報社）1985.3
- ・「愛知経済と自動車産業」（『労働運動』新日本出版社）1987.9
- ・「円高・海外進出と愛知県経済」（『愛知労働問題研究所年報 創刊号』愛知労働問題研究所）1988.9
- ・「自動車産業の教育訓練管理」（中京商学論叢 第35巻第3・4合併号）1989.2
- ・「日本的労務管理の再編成と青年労働者対策」（『経済 NO. 299』新日本出版社）1989.3
- ・「日本的労務管理の再編成と職場の健康問題」（中京商学論叢 第36巻第1号）1989.10
- ・「自動車 - 現地生産の本格化と激的な市場競争」（『労働運動 NO. 291』新日本出版社）1990.1
- ・「労務管理の展開と職場の健康」（『働くものの健康問題』愛知労働問題研究所）1990.6
- ・「自動車産業と労務管理」（『日本経営学会年報 第60集』千倉書房）1990.9
- ・「教育の問題に取り組む」（『社会・文化活動に取り組む』大月書店）1991.4
- ・「円高以降の日本自動車産業」共著（日本福祉大学 経済論集 第3号）1991.7
- ・「調査：在米日系自動車企業の実態」共著（日本福祉大学 経済論集 第3号）1991.7
- ・「管理教育と労務管理 - トヨタ『企業城下町』を事例として -」（『中京経営研究 創刊号』）1992.2
- ・“INDUSTRIAL RELATIONS IN THE AUTOMOBILE INDUSTRY”（中京経営研究 第2号）1992.10
- ・「ME化と労資関係 - トヨタ自動車を事例として -」（『中京経営研究 第2巻第1号』）1992.10
- ・「国際化と労務管理 - 自動車産業を事例として -」（労働理論学会研究年報 第2号）1992.10
- ・「『トヨタ生産方式』と労働者 - トヨタ自動車を事例として -」（中京経営研究 第2巻第2号）1993.2
- ・「トヨタの海外戦略と地域社会」（札幌大学 産研論集 No. 11）1993.3
- ・「福祉の充実に欠かせない労使関係の民主化」（『賃金と社会保障 7月上旬号』労働旬報社）1993.7
- ・「労働過程の変化と労働及び生活の質 - 自動車産業を事例として -」（社会政策学会「社会政策叢書 第17集」（啓文社）所収）1993.10
- ・「自動車・転換期迎えずむむらストラ『合理化』（『労働運動』新日本出版社）1993.12
- ・「社会環境の変化と職場組織の再編」共著（『社会科学論集 第34号』愛知教育大学社会科学会）1995.6
- ・「東電人権裁判判決と日本の労務管理政策」（『前衛』日本共産党中央委員会）1995.8
- ・「変化期における中小企業労働問題の研究課題」（三田商学研究 38巻6号）1996.2
- ・「ある労働経済学者との出会い」（『中京大学経済学論叢 7号』）1996.3
- ・「シンポジウム報告：『日本的経営』の再編成と大学教員任期制」（『大学と教育 No. 18号』東海高等教育研究所）1996.10
- ・「日本型企業社会と管理教育・労務管理 - トヨタ『企業城下町』を事例として -」（日本労働社会学会年報 7号）1996.12
- ・「『福祉国家』・『社会民主主義』と日本の労働・社会運動」（『八事 14号』中京大学評論誌『八事』編集委員会）1998.3

- ・「変貌するトヨタの生産・労働システムと労務管理 - 田原工場を事例として -」(『中京経営研究 第8巻第1号』) 1998.9
- ・「変容する生産システムと労働」(『労働運動 No. 419』) 1999.11
- ・「『福祉国家』と日本の労働運動 - 『福祉国家・スウェーデン』を素材として -」(中京経営研究 第9巻第2号) 2000.2
- ・「中小企業の労働問題」(『大原社会問題研究所雑誌 No. 504』) 2000.11
- ・「『賃金・所得の社会化』と生活 - スウェーデンを事例として -」(『中京経営研究 第11巻第2号』) 2002.2
- ・「雇用・労働時間と労使関係 - スウェーデンを事例として -」(『中京経営研究 第12巻第1号』) 2002.9
- ・「日本におけるスウェーデン労使関係研究の現状と課題」(『中京経営研究 第12巻第2号』) 2003.2
- ・「コメント・スウェーデンとの比較の視点から」(『労務理論学会誌 第12号』 晃洋書房) 2003.2
- ・Employment, Wage, and Industrial Relations, Comparison between Sweden and Japan, CHUKYO KEIEI KENKYU VOL. 13, NO. 2, 2004.2 (『中京経営研究 第13巻第2号』 2004年2月)
- ・“Patterns of Labour Control and the Erosion of Labour Standards: Towards an international Study of the Quality of Working Life in the Automobile industry (Canada, Japan, the UK)” Work and employment relations in the automobile industry, palgrave Macmillan, 2004
- ・論文「スウェーデンにおける人事・雇用システムと労使関係」(『労務理論学会誌 第13号』 晃洋書房) 2004.2
- ・「多国籍企業トヨタと企業中心社会の再編成」(『賃金と社会保障 1393 5月上旬号』) 2005.5
- ・「スウェーデン」(『世界の労働者のたたかい 第11集』 全国労働組合総連合) 2005.6
- ・「トヨタ自動車の労使関係」(『経済 No. 120』) 2005.9
- ・「社会民主主義型福祉国家・社会と日本の労働運動 - スウェーデンを素材として -」(『中京経営研究 第16巻第1号』) 2006.9
- ・Toyota Production System: The ‘Toyota Way’ and Labour-Management Relations, Asian Business & Management, Palgrave Macmillan 2006.5
- ・Stewart. P., Masaki Saruta et al. “Padrões de controle da mão-de-obra e a erosão dos padrões de trabalho Runo a um estudo internacional da qualidade vida no trabalho e na indústria automobilística (Canadá, Japão, eb Reino Unido)”, Adalberto Cardos, Alex Covarrubias Organizadores, A Indústria Automobilística nas Americas A reconfiguração estratégica e social dos alores produtivos Belo Horizonte Editora UFMG Rio de Janeiro IUPERJ, 2006
- ・「トヨタウェイと人的資源管理・労使関係」(『中京経営研究 第16巻第2号』) 2007.2
- ・「トヨタと健康問題」(『中京経営研究 第17巻第1号』) 2007.12
- ・「トヨタ生産方式で労働者はなぜ追い込まれるのか」(『前衛 No. 829』) 2008.4
- ・「Alternativ monterig (英訳版)」共訳(『中京経営研究 第18巻第1号』) 2008.12
- ・「『日本の経営』とトヨタの労務管理」(『労務理論学会誌 第18号』 晃洋書房) 2009.2
- ・「NEWSを読み解く 金融・経済危機と日本の自動車産業」(『経済科学通信 No. 119』) 2009.4
- ・「トヨタと地域社会 - 経営・労務調査研究を素材として -」(『東海社会学会年報 第1号』) 2009.6

- ・「トヨタの労使関係の現状と問題点」(『中京経営研究 第19巻第2号』) 2010.3
- ・「『日本の経営』とモラル・モチベーション管理」(『中京経営研究 第20巻第1・2号』) 2011.3
- ・「トヨタ生産システムと人事管理・労使関係」(『寄せ場 NO. 24』) 2011.5
- ・「ある社会政策学者との出会い - 二人が歩んだ30余年 - 」(『静岡大学 経済研究 16巻4号 三富紀敬教授退職記念号』) 2012.2
- ・「スウェーデンの労使関係 - 2000年以降の動向 - 」(『中京経営研究 第21巻第1・2号』) 2012.3
- ・「日本における『福祉国家』と労使関係」(『中京経営研究 第22巻第1・2号』) 2013.3
- ・「労務理論再構築の課題と方向」(『労務理論学会誌第18号』 晃洋書房) 2014

《その他》

- ・「筑豊・田川における失対労働者の現状と役割(上)」共著(労働運動 No. 155) 1978.11
- ・「筑豊・田川における失対労働者の現状と役割(下)」共著(労働運動 No. 156) 1978.12
- ・「造船不況と雇用・生活不安の実態」共著(『賃金と社会保障 No. 766』) 1979.3 下旬号
- ・「造船不況と雇用・生活不安の実態」共著(『賃金と社会保障 No. 767』) 1979.4 月上旬号
- ・「研究余滴, 千代田総行動」(三田評論 8・9月号) 1979.8
- ・『講談社 経済辞典』(個数賃金, 時間賃金など11項目担当) 1980.4
- ・「雇用不安と階層的目有働市場の再編成 - 因島市造船産業離職者実態調査報告」共著(賃金と社会保障 No. 797) 1980.7 月上旬号
- ・「座談会 減量経営下における大企業の横暴と労資協調組合の役割は」(『大企業「黒書」 職場の自由と民主主義を守る愛知連絡会議) 1981.12
- ・『マイクロ・エレクトロニクス (ME) 機器導入の労働に与える影響 - 労働環境研究調査結果報告書 昭和59年度』共著, 愛知県労働部 1985.3
- ・「ME化と『小集団活動』」(中京大学・中小企業研究 No. 7) 1985.9
- ・「『マイクロ・エレクトロニクス (ME) 機器導入の労働に与える影響』調査におけるヒアリング調査の概要および結果」共著(中京大学・中小企業研究 No. 7) 1985.9
- ・「読書案内, IKEGAI No. 2」(『労働運動 No. 249』) 1986.8
- ・「座談会 都市と大学」(『八事 - 特集 大学とは何か』中京大学) 1987.1
- ・「座談会 愛知の八七国民春闘の情勢とたたかい」(『87 愛知の国民春闘』愛知労働問題研究会) 1987.2
- ・「能力主義管理と職能給導入」(『事典, 日本労働組合運動史』大月書店) 1987.7
- ・「『自主管理運動』と能力主義的管理の強化」(『事典, 日本労働組合運動史』大月書店) 1987.7
- ・「中京大学の活性化と賃金 - 職能給導入によって職場は活性化するか」(『教研レポート 人事考課・職能給導入の諸問題』中京大学教職員組合) 1988.9
- ・「隠蔽しきれぬ雇用・生活不安の増大」(労働運動 No. 277) 1988.11
- ・「『中京大学学生生活の実態』 - 『学生生活に関する調査報告書』をもとに - 」(『教研レポート No. 12』中京大学教職員組合) 1990
- ・「豊田市にみる『管理教育』と労働者の家庭生活」(『産業構造の変化と地域構造・住民生活構造変化に関する実証的研究 - 平成元年科学研究費補助金(総合研究A) 研究成果報告書』) 1990.3
- ・「トヨタ・独VW提携 - 国際的な自動車産業の再編」(『経済』新日本出版社) 1991.6
- ・「イコール・ライツ(両性平等と人間の開放)」(『Equal Rights』愛知労働問題研究所) 1992.4
- ・「トヨタ自動車の現状と展開」(『トヨタ企業の展開と地域・生活の動向』自治労連愛知県本部・東海自治体問題研究所) 1993.10

- ・「社会環境の変化と職場組織の再編 - トヨタ自動車田原第 4 組立工場 -」共著（『社会科学論集 第 34 号』愛知教育大学社会科学会）1995.6
- ・「もう一つの妻子殺人事件は、なぜ起こったか」（『情報懇話会 21』会報 No. 59』連合通信社 1997.3.5)
- ・「企業社会と管理教育、労務管理」（『あいち県民教育研究所年報 第 5 号』）1997.5
- ・「規制緩和とトヨタシステム (1)」（東海労弁通信 No. 31）1998.2
- ・「福祉国家・新福祉国家と日本の労働・社会運動」（日本私大教連）1998.6
- ・「巻頭言/車依存社会と『環境首都』・フライブルク」（『所報 第 71 号』愛知労働問題研究所）1998.9
- ・「21 世紀へ愛知の夢を語る」（愛知民報 2000.1.2)
- ・「スウェーデンだより」（『所報 第 86 号』愛知労働問題研究所）2000.11
- ・「スウェーデンだより」（『所報 第 87 号』愛知労働問題研究所）2001.1
- ・「スウェーデンと日本の労働組合はどこが違うのか」（『所報 第 88 号』愛知労働問題研究所）2001.3
- ・「物価からみたスウェーデン - 日本とどこが違うのか」（『所報 第 90 号』愛知労働問題研究所）2001.5
- ・「スウェーデンと日本の労働組合はどこが違うのか」（『所報 第 91 号』愛知労働問題研究所）2001.7
- ・「さいごになった日経連『労問研報告』を解剖する」（『所報 第 98 号』愛知労働問題研究所）2002.3
- ・「福祉国家スウェーデンから日本を見る」（『なごや市職 第 1712 号』名古屋市職員労働組合）2002.3
- ・「『賃金・所得の社会化』と経済生活 - スウェーデンを事例として -」（『季刊労働総研クォーターリー No. 47』労働運動総合研究所）2002.7
- ・「21 世紀の社会・労働問題研究」（『所報 第 100 号』愛知労働問題研究所）2002.7
- ・「『賃金・所得の社会化』と経済生活 - スウェーデンを事例として -」（『季刊 労働総研クォーターリー No. 47』2002 年夏季号）労働運動総合研究所，2002.7.1
- ・「日本におけるスウェーデン労使関係研究の現状と課題」（『中京経営研究第 12 巻第 2 号』）2003.2
- ・「コメント・スウェーデンとの比較の視点から」（『労務理論学会誌 第 12 号』晃洋書房）2003.2
- ・「福祉国家スウェーデンから日本を見る」（『なごや市職 第 1712』）2003
- ・「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 第 9 集』全国労働組合総連合）2003.4
- ・「なぜ『ヨーロッパなみ』なのか」（『学習の友 No. 597』）2003.4
- ・「スウェーデンとの比較で見た日本の勤労者」（『経済 No. 97』新日本出版社）2003.10
- ・「スウェーデンからみた『過労死・過労自殺』」（『経済 No. 98』新日本出版社）2003.11
- ・「福祉国家スウェーデンに日本の将来像を学ぶ」（『東海 No. 新年号』）2004.1
- ・「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 第 10 集』全国労働組合総連合）2004.4
- ・「シンポジウム：日本の勤労者 その状態と改革の課題」（『経済 No. 103』新日本出版社）2004.4
- ・「第 8 回日独労働問題共同セミナー報告：雇用・失業・健康と貧困」（『所報』愛知労働問題研究所）2004.5
- ・「韓国・起亜自動車訪問印象記」（『所報 第 120 号』愛知労働問題研究所）2005.3
- ・「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 第 11 集』全国労働組合総連合）2005.6
- ・「トヨタ労働者、きのう、今日」（『職場の人権 第 35 号』研究会職場の人権）2005.7

- ・「スウェーデンの労働と生活（その1）」（『中京経営研究 第15巻第1号』）2005.9
- ・「スウェーデンの労働と生活（その2）」（『中京経営研究 第15巻第2号』）2006.2
- ・「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 第12集』全国労働組合総連合）2006.4
- ・「トヨタ生産方式と労働組合」（『月刊 まなぶ 通巻42号』）2006.10
- ・「格差社会と平等社会 - 学費と大学教育 -」（『大学と教育 No. 45』東海高等教育研究所）2007.3
- ・「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 第13集』全国労働組合総連合）2007.5
- ・「座談会：働くルールの確立を - EUと日本の現状から」（『経済 No. 141』新日本出版社）2007.6
- ・「調査報告：社会環境の変化と職場組織の再編 - M自動車F工場の実態 -」（『長野大学紀要 第29巻第1号』）2007.6
- ・「内野裁判・書証 意見書・トヨタ生産システム」（『所報 第135号』愛知労働問題研究所）2009.9
- ・「トヨタウェイと人事管理・労使関係」（『税金 2008』全国税労働組合）2008.4
- ・「トヨタウェイと人事管理・労使関係」（日本科学者会議）2008.11.22
- ・「金融・経済危機下で新年を迎えて」（『所報 第143号』愛知労働問題研究所）2009.1
- ・「トヨタ・フランス工場の労働者の実態」共著『月刊 全労連』2010.5
- ・JAPAN ACADEMY OF LABOR AND MANAGEMENT, Information Bulletin of The Union of National Economic Associations in Japan, 日本経済学会連合, 2011
- ・「敗戦直後の労働組合運動」（労務理論学会編『経営労務事典』晃洋書房）2011.6
- ・「教員生活を豊かにしてくれた労働組合運動」（『エンパシイ 創刊号』）2011.7
- ・「福祉国家・社会スウェーデンと労働組合」（『季刊 労働者教育 No. 145』）2012.7
- ・「『原点』としての労使関係」（中京大学評論誌『八事』）2014.

#### 《翻訳》

- ・ダニエル・ネルソン編著『科学的管理の展開』共訳（税務経理協会）1994.4
- ・カイサ・エルゴード「新しい生産システムの創造 - スウェーデンのボルボ・ウデバラ自動車組立工場 -」共訳（中京経営研究第10巻第1号）2000.9
- ・Birger Viklund「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 2008 第14集』全国労働組合総連合）2008.5
- ・Birger Viklund「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 2009 第15集』全国労働組合総連合）2009.6
- ・Birger Viklund「スウェーデンの賃金決定構造」（『中京経営研究 第18巻第1号』）2008.12
- ・Birger Viklund「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 2010 第16集』全国労働組合総連合）2010
- ・Birger Viklund「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 2011 第17集』全国労働組合総連合）2011.7
- ・Birger Viklund「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 2012 第18集』全国労働組合総連合）2012.8
- ・Birger Viklund「スウェーデン」（『世界の労働者のたたかい 2013 第19集』全国労働組合総連合）2013.7

#### 《書評》

- ・増山太助「読売争議」（三田学会雑誌 70巻4号）1977.8

- ・増山太助「産別会議 10 月闘争」(三田経済学研究 第 19 号) 1979.3
- ・丸山恵也著「日本的経営」(エコノミスト 11 月 21 日号) 1989.11
- ・「フレキシビリティ - 今日の派遣労働者」(『労働運動 No. 315』新日本出版社) 1991.12
- ・堤矩之・浪江巖編『日本の労務管理と労使関係』(『経済 NO. 339』) 1992.7
- ・新刊紹介野村正實「トヨタイズム」(「季刊 労働総研クォーターリー No. 15」労働運動総合研究所) 1994.7
- ・「動揺する『日本的労使関係』」(木元進一郎監修, 労働総研編「赤旗」1995 年 10 月 9 日付) 1995.10
- ・ローリー・グラハム「ジャパナイゼーションを告発する」(学生新聞 1539 号) 1997.10
- ・伊藤大一著『非正規雇用と労働運動』(『大原社会問題研究所雑誌 No. 504』) 2013.11